

令和3年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：特用林産産地振興事業

事業実施期間：令和2年度から令和6年度

担当課室名：水産林政部林業振興課

担当班名 地域林業振興班

TEL：022-211-2914

e-mail：rinsint@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

1 事業の目的

木くずや穀類の精製過程でできる廃棄物等に栄養を添加した「菌床」を使った宮城県のきのこ生産を拡大することにより、一次産業由来の廃棄物のリサイクルを推進するとともに、低コスト栽培手法の検証と放射性物質等安全性の確認、宮城県産きのこの更なる認知度向上に向けた新品種開発を通して、震災以降低迷した県内きのこ生産の復興に貢献する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

「簡易施設栽培法」による県登録ハタケシメジ品種の生産指導を、きのこ生産者に対し現地において行った。更に、「簡易施設栽培法」については、これまでの現地実証試験の成果を取りまとめた。

また、県登録ハタケシメジ品種の供給に係る原種菌調製、性能維持確認、劣化対策試験を行った。

併せて、更なる宮城県産ハタケシメジの生産拡大を図るため、菌床を用いた新たな野外栽培用品種の開発に関する試験を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

現地施設での生産者に対する栽培指導により、ハタケシメジの「簡易施設栽培法」での実用栽培が行われた。また、今後の栽培普及の推進のために、これまでの実証試験を踏まえた「簡易施設栽培マニュアル(案)」を取りまとめた。

また、登録品種の劣化対策により、性能維持が確認された原種菌を種菌メーカーに供給することで、栽培現場におけるハタケシメジの生産振興を図った。

更に、野外栽培用新品種開発については、登録品種と野生きのこの交配により作出した優良な菌株について、選抜のための栽培試験を実施し、新品種候補の絞り込みを行った。

4 今後の展開

引き続き、新品種開発に向けた試験研究を実施するとともに、併せて簡易施設栽培技術の改良開発・普及を進めることで、生産地域及び生産量の増大を図る。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果を示す指標の数値

(指標：木くずの再資源化) ※きのこ菌床使用分

単位：m³

平成30年度	令和元年度	令和2年度
197.8	208.9	197.8

6 事業費の推移

単位：千円

令和2年度	令和3年度
3,337	3,215